

今、改めて臨地実習指導とは（基礎編）

2日間の集中研修でブラッシュアップ！

第4回臨地実習指導研修会（一般社団法人日本看護学教育学会主催）が開催されました。研修会の様子と研修参加者アンケート集計結果を報告します。

研修日時、場所：

東京会場 1日目：平成 31年3月2日（土）10時～16時 **2日目：**平成 31年3月3日（日）9時～15時
場所 AP浜松町 東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルB館地下1F

大阪会場 1日目 平成 31年3月9日（土）10時～16時 **2日目** 平成 31年3月10日（日）9時～15時
場所 新大阪丸ビル別館 大阪市東淀川区東中島1-18-22

研修内容

- ステップⅠ：実習指導の基礎知識（講義）
- ステップⅡ：実習指導における課題の明確化（グループワーク）
- ステップⅢ：課題解決のヒント（講義）
- ステップⅣ：解決状況と解決方法の共有（全体討論）

講演

臨地実習指導にみがきをかけるわざ：講師：大池美也子（国際医療福祉大学）

主催者、ファシリテーター：理事長 佐藤紀子（東京慈恵会医科大学）、副理事長 安酸史子（関西医科大学）、総務委員 森田夏実（東京女子医科大学）、教育活動委員長 前田ひとみ（熊本大学）、水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）、山口みのり（静岡県立大学）、大池美也子（国際医療福祉大学）、定廣和香子（札幌市立大学）、秋元恵子（倉敷中央病院）、池西静江（office kyo-shien）、石束佳子（京都中央看護保健大学校）、野崎真奈美（順天堂大学）、服部美穂（人間環境大学）、古都昌子（札幌市立大学）、松田安弘（群馬県立県民健康科学大学）、道屋純子（蕨戸田医師会看護専門学校）、澁谷幸（神戸市看護大学）、山口直己（豊橋創造大学）

研修1日目スケジュール

グループワーク1

- 開会の辞、オリエンテーション
- 自己紹介・役割分担
- 学習課題の明確化（文献カードに記載した課題の共有、優先順位の検討と焦点化）

中間報告

- 3つの課題の掲示、課題の報告
- 課題の明確化に向けた質疑応答

講義

- 実習指導の基礎知識講義（授業としての看護学実習の特徴など）
- 講師：定廣和香子（札幌市立大学）、松田安弘（群馬県立県民健康科学大学）

グループワーク2

- 講義を受けて、教授活動を自己評価するとともに自己学習にて解決可能な課題を明確にし、掲示物をはずす

全体討議

- 残った課題を確認し、意味内容の類似性に基づき分類する
- 課題の統合結果を共有する
- 残された課題の整理、まとめ

研修2日目スケジュール

ヒント

- ファシリテーターによるシンポジウム
- 課題解決に向けたヒント（学習課題に関連したミニ講義、コメント）

グループワーク3

- ヒントを得て、自己学習により解決可能となった課題の掲示をさらに外す
- 残された課題について解決方法を検討

成果発表 総評

- 残された課題と解決方法の発表
- 解決できた課題の経過報告
- 理事長、委員長より総評

講演

- 臨地実習指導に磨きをかけるわざ
講師：大池美也子（国際医療福祉大学）

修了証授与

- 修了証の授与
- 閉会の辞

* 研修1日目の様子

東京会場

大阪会場

開会の
挨拶



安酸副理事長挨拶



前田教育活動委員長挨拶



森田理事挨拶

グループ
ワーク1



課題の明確化・・・早速、熱く語りました。

講義



講師：定廣先生

実習指導の基礎知識（授業としての看護学実習の特徴）について講義していただきました。基本に振り返りつつ、深い学びを得た受講生さんが多かったのでは。



講師：松田先生

全体討議

グループ
ワーク2



講義を受けたのち、各自が振り返り、解決可能な課題を明確にしました。さらに全体討議の中で残された課題を整理しました。

* 研修2日目午前の様子

ファシリテーターからのヒント

- * **秋元先生**「気がかりな反応に潜む学生の経験に近づき、学生を『対象理解』することからはじめよう。」
- * **池西先生**「よい実習指導には、看護現象の教材化と考えざるを得ない発問づくりが大切です。」
- * **石束先生**「理論や定義は、実践の先を照らしてくれます。理論や定義の概念を深く理解することをお勧めします。きっと、方向性を示してくれます。」
- * **渋谷先生**「既習実習が活かせていないように見える学生には、発問の仕方を変えるなど「学びのポケット」を一緒に探ってみると良いかもしれません。」
- * **野崎先生**「カンファレンスはチーム力を育成するチャンスです。目的を意識させ、雰囲気作りと承認で活性化しましょう。」
- * **服部先生**「指導者さんをお名前と呼んで、学生の反応や学びを積極的に伝えましょう！」
- * **古都先生**「学生がひとりで看護過程を展開する難しさを理解して、学生に見えた視点から一緒に情報を得ていくことが大切です。」
- * **前田先生**「学校内の連携強化を図るために領域横断的な評価は効果的です。」
- * **松田先生**「常に実習目標を意識し、可能な限り現象を教材にして学生との知的対決を試みる。」
- * **水戸先生**「課題がある、関わりが難しい学生とは信じて、待つ、見守ることが大切です。」
- * **道屋先生**「勇気をもって思いを伝えともに育てる意識を高めましょう」
- * **森田先生**「指導者-教員-学生が実習で看護の魅力を共に味わいたい」
- * **山口直先生**「指導者と目標の共有をするためには、実習で目指すべき学生の状況を具体的に説明できるようにしましょう。」
- * **山口み先生**「学生の態度を見て“やる気のない学生”などと決めつけていませんか？」



ヒント



グループワーク3



グループワークの後、残された課題と解決方法を発表しました。
ほとんどの受講生の皆さんがすっきりとして爽やかに報告してくれました。

講演



大池先生の「実習指導にみがきかけるわざ」の講義で、誰もが引き込まれ、癒され、元気になりました。

総評



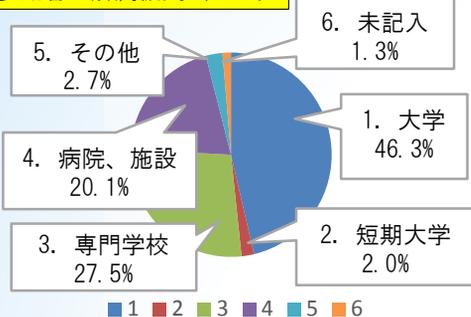
佐藤理事長より修了証が授与され、お褒めの講評をいただきました。

修了証授与

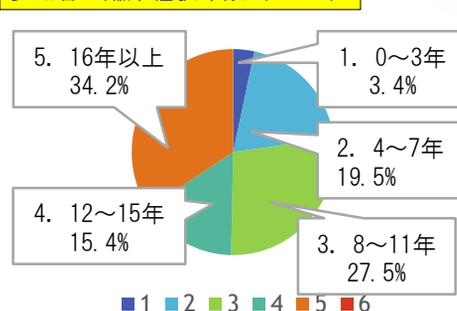


研修参加者アンケート集計結果より (回答者数149名)

参加者の所属機関 (n=49)

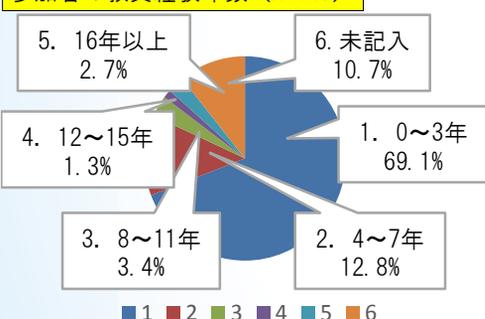


参加者の臨床経験年数 (n=149)

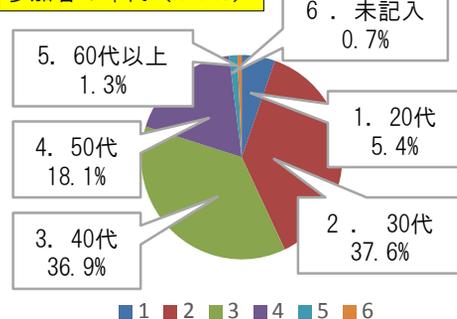


| 職位 | 人数 | % |
|-------------|-----|-------|
| 1. 教授 | 0 | 0.0 |
| 2. 准教授 | 2 | 1.3 |
| 3. 講師 | 2 | 1.3 |
| 4. 助教 | 32 | 21.5 |
| 5. 助手 | 28 | 18.8 |
| 6. 副校長 | 0 | 0.0 |
| 7. 教務主任 | 0 | 0.0 |
| 8. 実習調整者 | 0 | 0.0 |
| 9. 専任教員 | 38 | 25.5 |
| 10. 実習指導教員 | 8 | 5.4 |
| 11. 師長 | 1 | 0.7 |
| 12. 主任 | 6 | 4.0 |
| 13. 実習指導者 | 20 | 13.4 |
| 14. スタッフナース | 5 | 3.4 |
| 15. その他 | 5 | 3.4 |
| 未記入 | 2 | 1.3 |
| 計 | 149 | 100.0 |

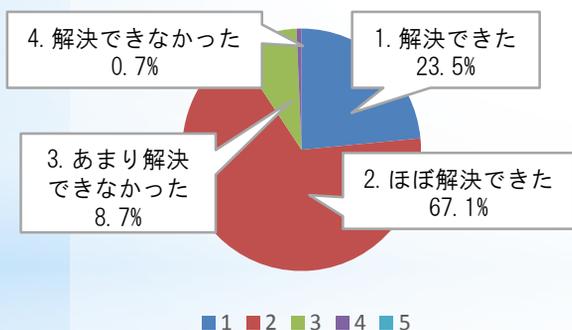
参加者の教員経験年数 (n=149)



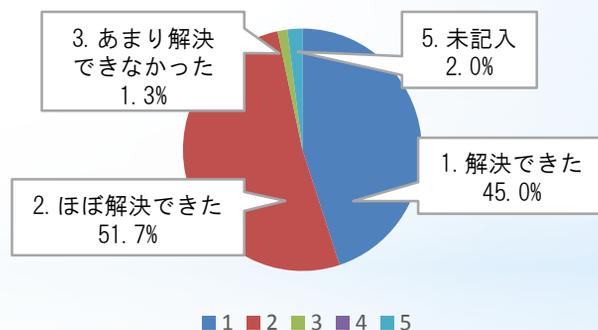
参加者の年代 (n=149)



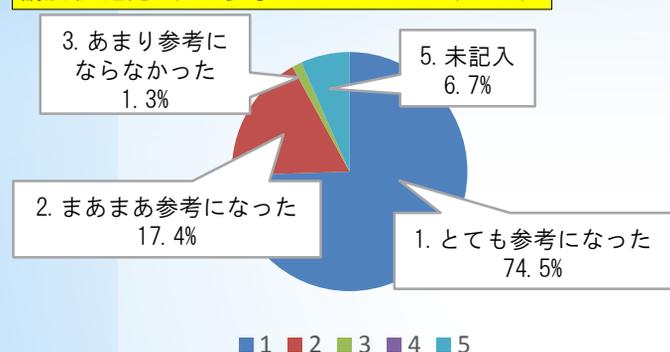
課題解決できましたか (1日目) (n=149)



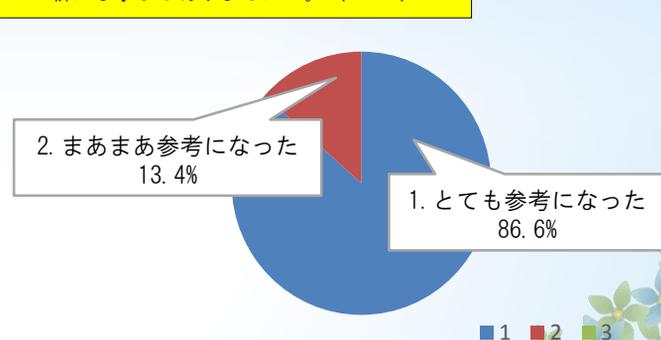
課題解決できましたか (2日目) (n=149)



講演(大池先生)は参考になりましたか (n=149)



2日間の研修を通して、臨地実習指導に関する新たな学びはありましたか。 (n=149)



研修参加者アンケート集計結果より（回答者数149名）

2日間の研修会の学び・感想（自由記載）

件数

| | | |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して、教員の立場として悩んでいることを共有し、解決に向けて考えることができた。 ・みんな同じような悩みをもっていただことに安心した。今後の実習指導に活かしていきたいと思った。 ・「対人職になる学生を育てる」ことの悩みには共通点が多いことに気づくことができた。 ・グループワークの中で自分の思いと他人の思いが共有でき心が楽になった。 ・同じように悩みを抱えている先生方と出会い、問題の解決につながる糸口がみえて勉強になった。 | 43 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやってきたことに背中を押された気がした。今後は前に進める気がした。 ・問題を共有、解決でき、自分が実習で気を張りすぎているのかと思い、少し肩の荷がおりた。 ・実習指導における課題に対し、思っていた以上に具体的な解決策や視点が得られ、来年度の実習が楽しみになった。 ・ディスカッションや先生方との講義、アドバイスにより指導が不安なことや疑問が解決された。 ・今回の研修ほど、モヤモヤが晴れた研修はなかった。 ・よくわからないことや疑問に思っていることなどの答えとなるヒントがたくさんあった。 | 20 |
| 研修を通しての学び感想 計84件(複数 回答有) | <ul style="list-style-type: none"> ・目からうろこでした。教員自身も変化していきたい。 ・学びを活かして学生のことを理解して指導できるようになりたい。 ・日々の教育指導に役立つことばかりで、自分の目標も見つかった。 ・教員がどのような勉強をしているのか少しわかり、教員を目指したくなった。 ・教員として学生に歩み寄ることから教員は始まっているのだという痛感した。 ・学生に「視野を広げて」と言ってきたが、自分の視野が狭かったことに気づかされた。 ・学生と良い関係性を築けば内面が表面化してくるものだということがわかった。 ・「こうあるべき」と私自身が思い込んでいて、思い通りに進めようとするのは学生を信じていないことだと知ることができた。 | 10 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークと講義がほどよくミックスされていて、主体的に学ぶことができた。 ・実習だけでなく、継続教育にも役立てることのできる研修だった。 ・来年度も学生担当になるのが少しだけ楽しみになった。学んだことを実践したい。 ・教育という視点での学びとともに自分の看護観を改めて振り返ろうという気持ちが高まった。 ・対象を決めつけるのではなく点で見るのではなく、線で見なければよいと気づいた。 ・学生との知的対立、関りを悩みながらも積極的に教育したいと思えた。 ・今までは学生の意識を変える方向ばかり考えていたが、自分の視点を変えればよいのだと気づいた。 ・教員は引き出すこと、という言葉の意味が解ってきたように思った。 ・自分の価値観で学生を見ない、学生自身にも人生や思いがあることに気づけた。 | 11 |
| 講師に関する 感想 計15件(複数 回答有) | <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの先生がとても良かった。(適したアドバイスをくれた) ・ファシリテーターの先生の助言によって、たくさんの気づきや学びがあった。 ・大池先生の講義は、学生にどのように発問したらよいか悩んでいた私にはとても参考になった。 ・松田先生の講義はとても具体的でわかりやすく勉強になったとともにこのようになりたいと憧れた。 ・先生方の講義で胸のつかえがすーっと取れていった気がする。 ・ファシリテーターの先生は私たちのやり取りをうなずきながら温かく見守りつつ、意見を整理誘導してくれ、自分自身の頭の中が整理できた。 ・ファシリテーターの学生のとらえ方、関わり方を聞き、自分もそうありたいという明確な目標を見つけることができた。 | 15 |
| GWに関する感 想 計25件(複数 回答有) | <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決をするという明確な目標設定と、それに対する講義、GW、ヒント、GW、講義という構成に感銘を受けた。 ・グループワークで悩んでいた課題が共通なものであると認識できた。 ・グループワークを通して、当初考えていた課題が解決できて良かった。 ・各グループのメンバーや同じグループメンバーからの意見交換ができ、今後に役立てていきたい。 ・グループワークを通して多くの方々の意見が聞けたことがとても貴重だった。 ・グループディスカッションで一番最初に思いついたものを解決策に終着してしまう傾向があった。患者ファーストではなく、学生ファーストの気持ち強いのではと思った。 ・グループワークが苦手でしたが、とても楽しく先生とともに自由に自分の意見が言えとても楽しかった。 ・グループワークにファシリテーターがずっと入っていただけたことは話し合いも活発になり良かった。 ・それぞれ所属が違ったが、同じ所属でのグループワークがあってもよかったです。 | 25 |
| 研修に関する 意見など 計10件 | <ul style="list-style-type: none"> ・会場が狭い。 ・スライドの下1/3がみえなくて残念だった。 ・グループワークの声が聞き取りにくく、配慮をしてほしかった。 ・研修費が安く助かった。 | 10 |
| その他 計15件 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導者のモチベーションを上げるためには病院側、看護協会の取り組みが必要だと思った。 ・臨床指導者と密にコミュニケーションをとり学生と一緒に育てるパートナーとして関りたいと思った。 ・自分の指導に自信をもって実践していこうと思えた。 ・教員と指導者の役割について悩んでいたが、いろいろと試してよいのだと思えた。 ・学校の先生方がどのような気持ちで学生を実習に送り出しているのかよくわかった。 ・学生の課題より、教員の課題として考えなければいけないことが多いと思った。 ・教育に携わるようになって思い込みがあったことに気づいた。 ・自分が実習目標を落とし込むことから始めたい。 ・教材化や現象の切り取り(選択)再構成は現場の看護師も持っていてほしいスキルだと思った。 ・気持ちの共有(ディスカッション)のみでは現場はなかなか良くならないのが残念だと思う。 | 15 |

研修参加者アンケート集計結果より (回答者数149名)

今後の研修希望に関する自由記載

件数

| | | |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 応用編・ブラッシュアップの希望 計13件 | <ul style="list-style-type: none"> ・応用編に期待したい。 ・レベルアップ講座をお願いしたい。 ・基礎→発展→〇〇のような形で継続して学びたい。 ・発展編の研修も計画してもらいたい。 ・(残った課題に対して)続編として応用編もお願いしたい。 ・基礎からブラッシュアップで継続した応用編にも参加したい。 ・応用編への発展に期待したい。 ・基礎編の継続としてまたGWで学びあいたい ・継続的に研修を受けたい。 ・実習指導に関する続編、教育についてなど研修に参加したい。 ・今回のステップ編があれば参加したい。今回のメンバーで実践を振り返ることができたら良い。 ・次のステップの研修で再考できる機会があったら良い。 ・中級編など続きの研修があれば参加したい。 | 13 |
| 教材・内容に関する希望 計13件 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生が主導となつてすすめるカンファレンスの方法について聞きたい。 ・学生に伝える技術を具体的に聞きたい。 ・実習指導案の立て方について学びたい。 ・EPA教育について看護教育の専門家から学びたい。 ・在宅看護実習など、教員が不在になりがちな所での実習指導方法について知りたい。 | 7 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各領域での講義もあればうれしい。 ・看護教育の評価についての研修をお願いしたい。 ・講義の企画、方法について基礎編に参加したい。 ・授業方法についての研修をお願いしたい。 ・座学での「授業」「講義」の研修もお願いしたい。 ・授業(講義)の方法について知りたい | 4 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実習につながるアクティブラーニングの講義の工夫について知りたい。 ・アクティブラーニングについて具体的な方法を研修会してほしい。 | 2 |
| 対象に関する希望 計2件 | <ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいるのは新人だけではないと思うので、悩みを共有できる場所を提供してほしい。 ・臨地実習指導者研修(アドバンス)を希望する。 | 2 |
| 方法などについての希望 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェスタイルでグループ編成を変えながら他参加者と話す機会があっても良かった。 | 1 |
| 時間・時期に関する希望 計2件 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間で定期的で開催してほしい。 ・複数回に分けて開催してほしい。 | 2 |
| 開催場所についての希望 計3件 | <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の人でも参加しやすいところでの開催をお願いしたい。 ・九州地方での開催をお願いしたい。 ・福岡での開催をお願いしたい。 | 3 |
| その他意見・希望 計8件 | <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し余裕ある研修スペースが良い。 ・後ろの席だと画面の下のほうが見づらかったので、もう少し配慮してもらいたかった。 ・堅苦しくない研修でよかったので、次回もお願いしたい。 ・空調が気になった。暑くて眠くなってしまった。ので学ぶ環境調整もお願いしたい。 ・8月の研修が興味深い。 ・トイレ休憩をもう少し増やしてほしい。 | 6 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学教育学会の研修に参加したいと思った。 | 1 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学び合える場、すごいことだと感じた。認め合う、確認し合える場をありがとうございました。 | 1 |

東京会場ファシリテーター一同



大阪会場ファシリテーター一同



研修会への参加ありがとうございました。また、ともに学びましょう。